

関連項目：教育活動プラン③、⑤

縦割り班活動から、人のためになることの喜びや意義を感じさせる

目的

本校の児童は、人とのかかわり方が下手で衝突したり、人間関係がうまくいかなかったりすることがあり、自分のことで精一杯になっています。そこで縦割り班活動を工夫し、思いやりや感謝の気持ちを育て「笑顔があふれる学校」にしたいと考えました。

内容

● なかよし遊び

本校では、20年以上前から異年齢集団による長縄活動に取り組んでいます。1年生か6年生までが一緒になって長縄跳びをすることで協力や思いやりの心を培ってきました。しかし長年工夫しながら続けてきたがマンネリ化し、子どもたちにとってやらされ感の強い楽しくない活動になってきました。そこで、今年度は、児童会のめあてのひとつ「楽しい学校」を実現させるために長縄跳びだけでなく、子どもたちが主体的に考え取り組む交流活動に取り組むことにしました。全学年を通して13・14人で一つのなかよし班をつくり、6年生を中心に全員でできる遊びを考え、火曜日の朝の活動の時間に集団遊びをしました。昨年度から取り組んでいるこの取り組みは、それぞれのなかよし班を担当している教員がしっかりとかかわり、教員も「なかよし班」の一員として行動するようにしています。



なかよし遊びの様子

● あいさつ運動

児童会が呼びかけたあいさつ運動では、なかよし班で順番に当番になり、登校時間に門や玄関口で「おはようございます」のあいさつをします。初めは、恥ずかしそうにあいさつをしていますが1年生の元気な声が大きく響き、徐々に他の学年の子どもも元気なあいさつができるようになってきています。また、当番日以外の日にも自主的にあいさつ運動に参加できる子どもの姿も見られます。あいさつの様子は、昼の放送で当番の6年生が順番にあいさつがよかった児童を紹介する形で全校生に知らせるようにしています。紹介をする言葉は、6年生一人一人が自分で考え、自分の言葉で発表するようにしています。

● 6年生へのプレゼント

卒業を迎える6年生へのプレゼントとして「なかよし班」の児童が寄せ書き（写真入り）をした色紙を手作りで送り送るようにしています。「なかよし班」での活動を1年間を通して行っているのも、思い出も多く寄せ書きの言葉にも心が込められています。

● 6年生を送るためのなかよし活動

2月の末に行われる6年生を送る会では、「なかよし班」によるスタンプラリーを行います。これまでいろいろお世話になった6年生と一緒に過ごす最後の活動です。このスタンプラリーの計画や実施は4・5年生が中心に行い、みんなに楽しんでもらえるような工夫をしています。

成果

なかよし班での活動は、本年度始まったわけではなく、これまでも取り組んできた活動です。しかし本年度は、教師の姿勢の変化や子ども同士が賞賛し合う場を設けることで、お互いを認め合い、感謝・責任・思いやりといった気持ちの高まりとともに争い事が減り、和やかな雰囲気が広がっています。